



2007年3月期 第1四半期決算 説明資料

<平成19年3月期 第1四半期>

Operating results for the three months period 30<sup>th</sup> June, 2006

株式会社 CSKホールディングス

CSK HOLDINGS CORPORATION

For The Next Stage.

## 目次 Contents

	Page
連結 業績サマリー Consolidated summary	2
連結 販売管理費・営業外損益の内訳 Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses	3
連結 特別損益の内訳 Consolidated extraordinary gains & losses	4
連結 セグメント別業績 Consolidated operating results by segments	5
連結 情報サービス事業の業績 Consolidated operating results of information services	6
連結 金融サービス系事業分野の業績 Consolidated operating results of financial services, securities business and prepaid card sales	7
連結 貸借対照表 Consolidated balance sheets	8
連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows	9
連結 通期業績予想 Consolidated earnings forecast for March, 2007	10

※(株)CSKシステムズに関する決算情報は、補足説明資料に記載しております。

### <CSKグループのロゴマークについて Logotype of CSK Group >

CSKグループは、平成17年10月1日、(株)CSKホールディングスを持株会社とする新たな経営体制へ移行し、これに伴い、CSKグループを表象するロゴマークを設定したものです。

ロゴマークは、「CSK GROUP」のロゴタイプと、カーブ状にデザイン化した「C」(CSKの頭文字)をスクランブルに配置した組合せにより構成されています。

内側(CSK GROUP)から外側(社会全体)に向かって放射されるパワーとダイナミズムを表現したデザインは、同時に「未来に向けた永続的な成長性」のシンボルでもあります。

このロゴに込められた「躍動感と連携」、「自由な創造性」はいずれも「総合的なサービスプロバイダー」を目指すCSK GROUPの企業イメージを表象するものです。

CSK GROUP established its new logotype when its group management was reorganized under the control of its holding company CSK HOLDINGS CORPORATION on 1<sup>st</sup> October, 2005 with the vision of comprehensive service provider.

This new logotype consists of nameplate CSK GROUP and surrounding two Cs, initial letter of CSK.

The design expresses power and dynamism which radiate from inside (CSK GROUP) toward outside (the whole society) and is a symbol of permanent development for the future.

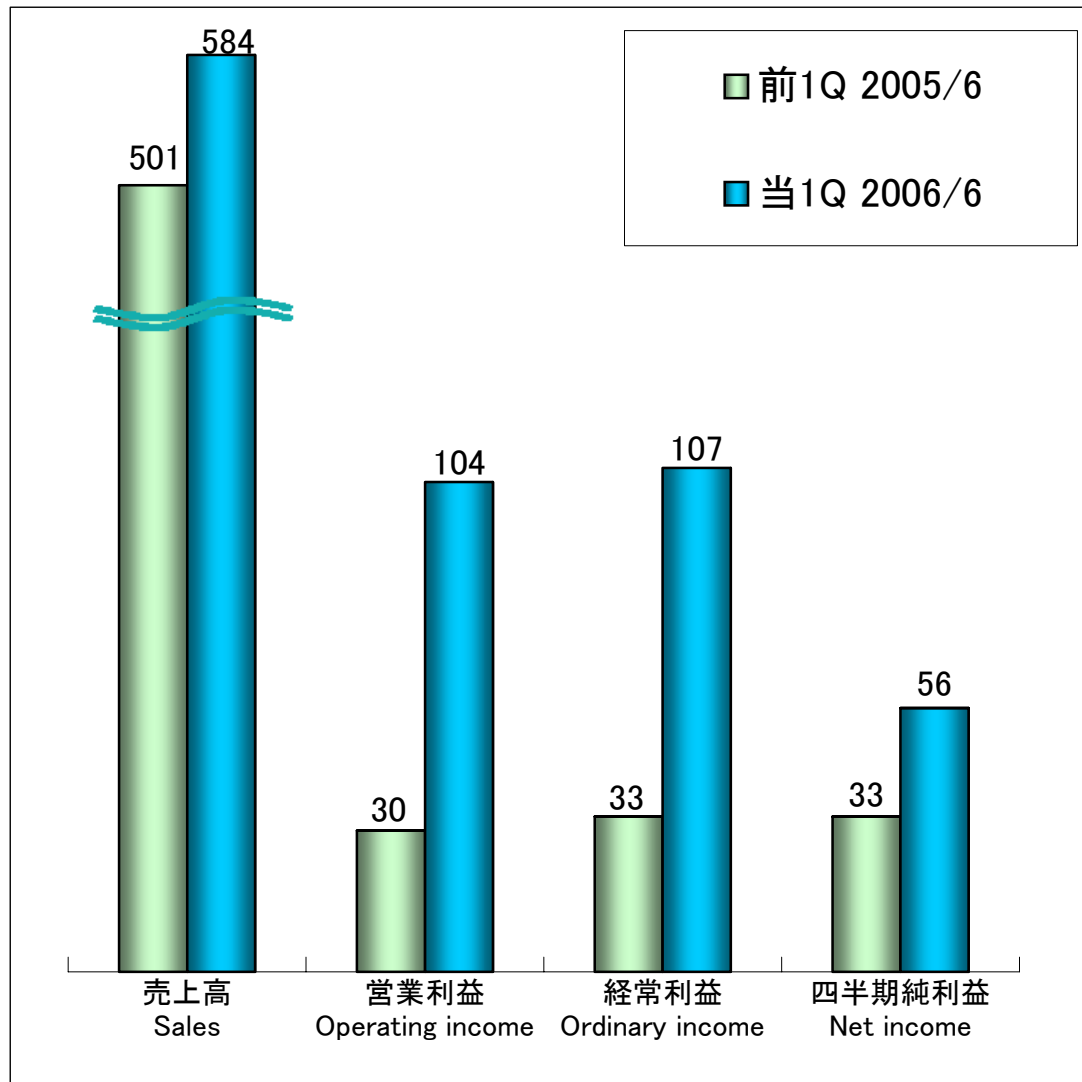
The logotype also implies the corporate culture of CSK GROUP, such as pulse, collaboration and creativity.

### <免責事項 Disclaimer >

本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

This material is intended to provide information about the business performance and strategy of the CSK Group. It is not intended and should not be construed as an inducement to purchase or sell stock in CSK HOLDINGS CORPORATION (CSK) or CSK Group companies. Statements in this presentation and at the explanatory meeting that are not historical fact are forward-looking statements, based on the current beliefs, estimates and expectations of management. As these beliefs, estimates and expectations are subject to a number of risks, uncertainties, and assumptions, actual results may be materially different. CSK undertakes no obligation to update any forward-looking statements, and shall in no event be liable for any damages arising out of the use or interpretation of this material. Please refrain from copying, disseminating or distributing this material without the prior consent of CSK.

## 連結業績サマリー Consolidated summary



(単位: 億円/100millions of yen)

	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance
売上高 Sales	501	584	83 16.7%
営業利益 Operating income	30 6.0%	104 17.9%	74 245.7%
経常利益 Ordinary income	33 6.6%	107 18.4%	74 225.3%
四半期純利益 Net income	33 6.8%	56 9.6%	22 65.9%

1株当たり利益 Earnings per share	円 44.99	円 76.35	円 31.36
-------------------------------	------------	------------	------------

### <前年同期との比較サマリー>

売上高 : 前年同期比、増収

- 情報サービス事業は、証券系ASP/コールセンター関連は順調に推移、機器販売等の減少をカバーし、ほぼ前期並を確保。
- 金融サービス・証券・プライベートカード事業は順調に推移し増収。

営業利益 : 前年同期比、増益(3.4倍)

- 情報サービス事業では、BPO関連事業の拡大、収益性の向上、新たなビジネスモデル構築の積極的推進、前期下期以降の新たなグループ経営体制等により、増収。
- 金融サービス事業は、投資案件の精算が進み、増益

経常利益 : 前年同期比、増益

- 営業利益段階までの同様の理由により、増益(3.2倍)。

四半期純利益 : 前年同期比、増益

- 四半期純利益は、経常利益に特別損益及び税金等が加わり、前年同期比22億円(65.9%)の増益。

## 連結 販売管理費・営業外損益の内訳

Consolidated sales & administration costs and non-operating income/expenses

(単位: 億円/100millions of yen)

販売管理費	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
人件費	64.3	66.6	2.3	コスモ証券での営業・スタッフ等の増員で+2.6億円、CSK-MKTでの要員増 等
減価償却費	4.3	4.5	0.1	コスモ証券での営業店舗改修・新設等償却資産増+0.1億円 等
広告宣伝費	2.0	4.7	2.6	コスモ証券及びクオカードにおける販促活動に係る広告宣伝費用等が増加
その他	55.4	67.7	12.3	その他の主な内容: 業務委託料、事業税、家賃、通信費 等
<b>販売管理費 計</b>	<b>126.1</b>	<b>143.6</b>	<b>17.5</b>	

### < 営業外損益 >

営業外収益	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
受取利息	0.4	0.3	△0.1	—
受取配当金	1.1	2.0	0.8	グループ以外の保有有価証券に係る配当金が増加
持分法による投資利益	0.8	—	△0.8	前1Q分のネクストコムに係る持分法投資利益
カード退蔵益	2.1	2.0	△0.0	プリペイドカードの未使用見込分に係るカード預り金取崩額
その他	1.1	1.4	0.3	その他の主な内容: 家賃収入、助成金収入 等
<b>営業外収益 計</b>	<b>5.7</b>	<b>5.8</b>	<b>0.0</b>	
営業外費用	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
支払利息	0.9	0.0	△0.8	長期借入金の返済 等
退職給付引当金繰入額	0.6	0.6	—	会計基準変更時の償却額
証券代行手数料	0.3	0.4	0.0	信託銀行への株式事務委託費用
その他	1.0	2.0	0.9	その他の主な内容: 保険損失、転籍調整費用 等
<b>営業外費用 計</b>	<b>3.0</b>	<b>3.1</b>	<b>0.1</b>	
営業外損益 Net	2.7	2.6	△0.0	

## 連結 特別損益の内訳

Consolidated extraordinary gains &amp; losses

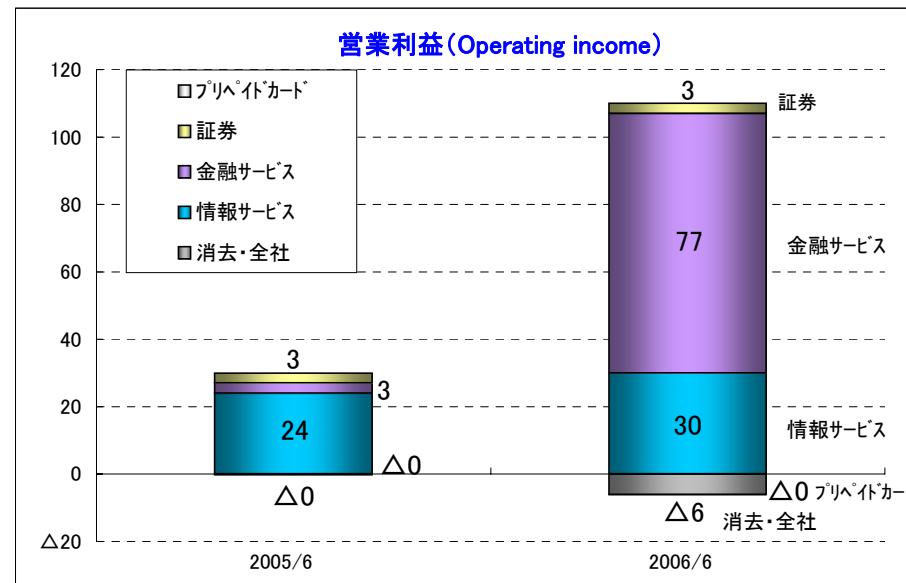
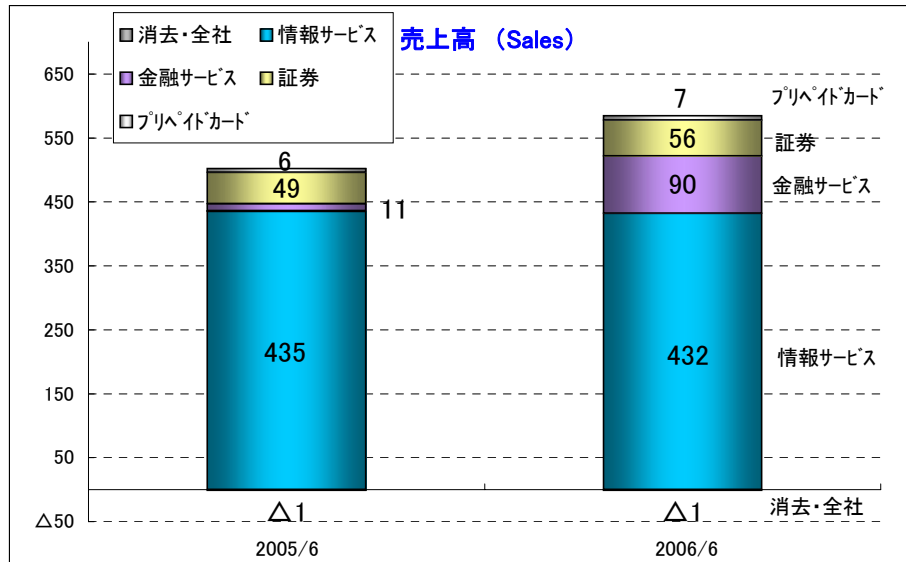
(単位: 億円/100millions of yen)

### < 特別損益 >

特別利益	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
投資有価証券売却益	1.5	0.5	△1.0	グループ会社における投資有価証券の売却によるもの
貸倒引当金戻入益	—	0.6	0.6	貸倒設定債権のうち、回収ができたものに係る利益
事業譲渡益	—	2.7	2.7	グループ会社における事業譲渡に係る利益
その他	0.2	0.4	0.1	固定資産売却益 他
特別利益 計	1.8	4.4	2.5	
特別損失	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance	増減要因 又は 内容説明 Reason or explanation of account
固定資産除却損	0.4	0.2	△0.2	前1Q: 保有不動産売却に伴う除却
減損損失	0.9	—	△0.9	前1Q: 遊休資産等に係る減損損失
投資有価証券評価損	—	0.2	0.2	—
事業所移転損失	—	0.1	0.1	—
データセンター移転損失	1.7	—	△1.7	前1Q: 池袋から千葉eDC等への移転に係る諸費用
カードプレミアム一括処理額	0.9	—	△0.9	前1Qからの会計基準変更に伴う一時費用
証券業に係る特別法上の準備金	0.7	0.6	△0.0	証券取引責任準備金及び金融先物取引責任準備金の繰入額
その他	0.7	0.0	△0.6	前1Q: 保有不動産の売却損 他
特別損失 計	5.6	1.3	△4.2	
特別損益 Net	△3.7	3.0	6.8	

連結 セグメント別業績 Consolidated operating result by segments

(単位: 億円/100millions of yen)



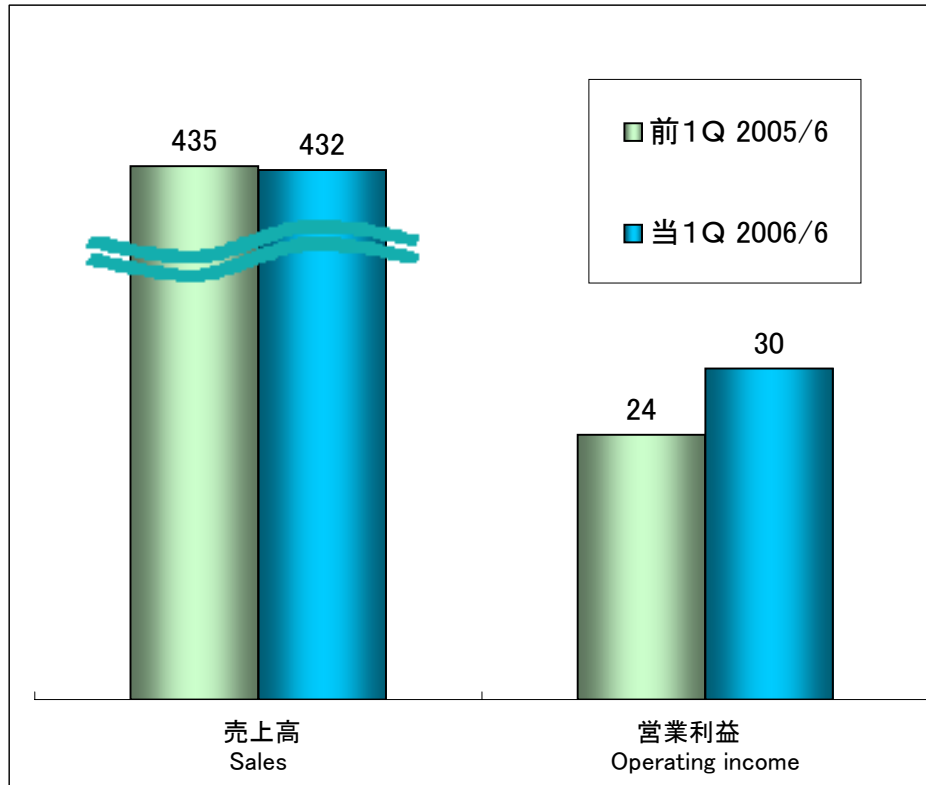
セグメント別業績 Operating result by segment

	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance
<b>情報サービス</b> Information service			
売上高 Sales	435	432	△3
営業利益 Operating income	24	30	6
<b>金融サービス</b> Financial service			
売上高 Sales	11	90	78
営業利益 Operating income	3	77	74
<b>証券</b> Securities business			
売上高 Sales	49	56	7
営業利益 Operating income	3	3	△0
<b>プリペイドカード</b> Prepaid card sales			
売上高 Sales	6	7	0
営業利益 Operating income	△0	△0	0
<b>消去及び全社</b> Elimination & Corporate			
売上高 Sales	△1	△1	0
営業利益 Operating income	△0	△6	△6
<b>合計 Total</b>			
売上高 Sales	501	584	83
営業利益 Operating income	30	104	74

各セグメント別の主な会社一覧

<b>情報サービス</b> Information services	㈱CSKシステムズ、㈱CSK(前1Q)、㈱ジェー・アイ・イー・シー、日本フィット(前1Q)、 ㈱CSKネットワークシステムズ、㈱ISAO、㈱CSKシステムマネジメント、㈱福岡CSK、㈱北海道CSK、 スーパーソフトウェア㈱、㈱CSK Winテクノロジー(旧 ㈱エイ・エス・ティ)、㈱CSソリューションズ、 ㈱サービスウェア・コーポレーション、㈱CSKコミュニケーションズ、㈱福井CSK、 ㈱島根CSK、㈱岩手CSK、㈱大分CSK、㈱CSKマーケティング、㈱ヘリサブ、ビジネスエクステンション㈱、 CSKフィールドサービス㈱、㈱ライドワークス、㈱CSK証券サービス、㈱CSKビジネスサービス、
<b>金融サービス</b> Financial service	CSKファイナンス㈱、CSKベンチャーキャピタル㈱、CSKプリンシパルス㈱、プラザアセットマネジメント㈱、㈱CSK-IS
<b>証券</b> Securities business	コスモ証券㈱
<b>プリペイドカード</b> Prepaid card sales	㈱クオカード
<b>消去及び全社</b> Elimination & Corporate	㈱CSKホールディングス

**連結 情報サービス事業の業績** Consolidated operating results of information services



(単位: 億円/100millions of yen)

		前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance
CSK-SYS ※1	売上高	272	251	△20
	営業利益	17	16	△0
JIEC	売上高	27	31	3
	営業利益	1	1	0
CSK-NET	売上高	24	21	△3
	営業利益	1	1	△0
SWC(連結)	売上高	47	49	2
	営業利益	2	4	1
CCO(連結)	売上高	12	14	1
	営業利益	△0	0	1
VERI	売上高	11	14	2
	営業利益	1	1	0
CSK-SS	売上高	17	26	8
	営業利益	2	5	2
その他、連結消去 ※2 Others, Elimination	売上高	21	23	1
	営業利益	△2	△0	1
情報サービス事業		売上高 435	432	△3
		営業利益 24	30	6

※1 当1Qとの業績比較のために、前1Qは以下の調整した数値を記載。  
 CSK-SYSの前1Q = "旧CSK" + "旧JFITS"  
 (JFITSは、2005/10にCSK-SYSと合併したため、当1QはCSK-SYSに含まれている)

※2 その他の会社業績と連結消去の合算値を記載。

<情報サービス事業の概況>

- ITO
  - ①金融業界向けの売上が増加。特に証券分野におけるシステム増強やシステム再構築案件が牽引。
  - ②通信業界向けでは、引き続きナンバーポータビリティをテーマに設備投資が継続。新サービスに関わる引合いも増加。
- BPO
  - ③活況な株式市況を背景に、証券業務に関するASP・BPO収入が増加。
  - ④金融業界、特にカード会社向けのデータマネジメント、入会審査等の収益拡大や、通信業界他向けのセールスサポート業務が拡大。
  - ⑤システム開発とBPOの連携強化により、既存・新規とも拡大を目指す。

<当社グループの情報サービス事業の状況>

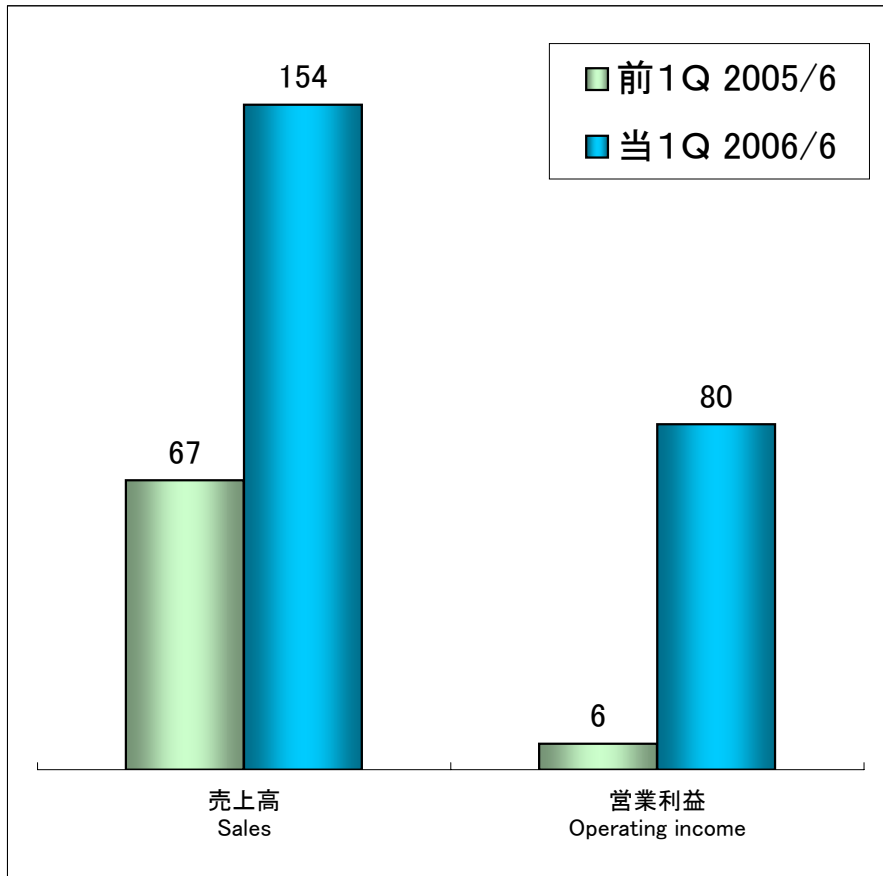
売上高 : 前年同期比、微減  
 →ASP関連売上、BPO及びコンタクトセンター関連売上は順調に拡大。  
 機器販売等の減少をカバーし、売上高全体ではほぼ前年同期比3.1億円(△0.7%)の微減。

営業利益 : 前年同期比、増益  
 →既存の情報サービス事業の収益性及び更なる健全性向上、新たなビジネスモデルの構築に注力したこと、新グループ管理体制への移行等から、前年同期比6.8億円(28.2%)の増益。

## 連結 金融サービス系事業分野の業績

Consolidated operating results of financial services, securities business and prepaid card sales

※金融サービス系事業分野 = 金融サービス事業、証券事業、プリペイドカード事業の3つを合わせた分野の総称



(単位: 億円/100millions of yen)

		前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance	
金融サービス事業 Financial service	売上高	11	90	78	
	営業利益	3	77	74	
証券事業 Securities business	売上高	49	56	7	
	営業利益	3	3	△0	
プリペイドカード事業 Prepaid card sales	売上高	6	7	0	
	営業利益	△0	△0	0	
金融サービス系事業分野		売上高	67	154	86
		営業利益	6	80	73

### <金融サービス系事業分野の概況>

- ①金融サービス事業：経済環境の改善と並行して、マーケット環境は、引き続き好調に推移。新興企業の不祥事で不安材料があるも、投資増加トレンドは継続中。
- ②証券事業：当1Qの国内株式相場は、'06/1-3月比で急落するも、前年同期比では、株式売買代金は大きく拡大。
- ③プリペイドカード事業：景況感の改善に伴い、消費動向も増加トレンド。企業における販促ツールとしての利用やギフト市場の拡大が見込まれる。

### <業績>

売上高：前年同期比 増収  
 →各事業セグメントで増収。金融サービスは約8倍、証券事業は15.1%、プリペイドカード事業は5.8%の増収。

営業利益：前年同期比、大幅増益  
 →金融サービス事業の匿名組合の精算が順調に推移し、増益に貢献。  
 →証券事業は、販促費用・人件費等の販管費が増加し、微減。  
 →プリペイドカード事業は、増収に伴い営業損益が0.1億円改善。



# 連結 貸借対照表 Consolidated balance sheets

		前期末 2006/3	当1Q末 2006/6	前期末比 Variance			前期末 2006/3	当1Q末 2006/6	前期末比 Variance
流動資産 Current assets	現預金	774	661	△113	流動負債 Current liabilities	買掛金	140	95	△44
	売掛金	360	227	△133		有利子負債(短期)	238	322	83
	金融サービス資産 及び 営業投資有価証券	972	1,091	118		カード預り金	389	397	7
	証券関連資産	1,806	1,630	△176		証券関連負債	1,480	1,273	△207
	その他	486	507	20		その他	424	309	△115
		4,401	4,117	△283		2,673	2,398	△274	
固定資産 Fixed assets	有形固定資産	269	263	△6	固定負債 Fixed liabilities	有利子負債(長期)	680	680	—
	無形固定資産	44	39	△4		その他※	43	42	△0
	投資その他の資産	715	745	30	固定負債 Total liabilities	723	722	△0	
	投資有価証券	586	604	18	負債合計 Total liabilities	3,397	3,121	△275	
	前払年金費用	32	32	0	純資産合計 Total net assets	株主資本	1,687	1,722	35
	繰延税金資産	9	13	3		評価・換算差額等	110	93	△17
	その他	86	94	8		少数株主持分	236	228	△7
		1,029	1,048	18	負債純資産合計 Total liabilities and net assets	2,034	2,045	10	
資産合計 Total assets		5,431	5,166	△265		5,431	5,166	△265	

預託金 △98億円  
信用取引資産 △89億円 他

新規投資の増加  
により+118億円

信用取引負債 △203億円  
その他 △3億円

短期借入金 +104億円  
一年内長期借入金 △21億円

(単位:億円/100millions of yen)

余資の安定運用投資  
等により+18億円

純資産比率 37.5% 39.6% 2.1%

※前期末については、従来の「資本」及び「少数株主持分」を、「純資産」に組替えて記載しております。  
Shareholders' equity and minority interests at 2006/3 are rearranged to net assets.

※固定負債のその他には、証券事業にかかる特別法上の準備金を含む。  
Statutory reserves in securities business are included.

未払法人税等 △94億円  
賞与引当金 △35億円 他

## 連結 キャッシュ・フロー Consolidated cash flows

(単位: 億円/100millions of yen)

	前1Q 2005/6	当1Q 2006/6	前年同期比 Variance
営業キャッシュ・フロー Operating cash flows	△90	△138	△48
投資キャッシュ・フロー Investing cash flows	△74	△39	34
財務キャッシュ・フロー Financial cash flows	65	62	△3
キャッシュ・フロー計 *1 Total cash flows *1	△99	△116	△16
現預金残高 *2 Cash & cash equivalents, at end *2	675	631	△43

・主に、金融サービス事業での新規投資。

・プリペイドカード事業に係る供託用国債の取得による支出が減少。

・営業キャッシュ・フローにおいて、金融サービス事業での投資が先行したこと等により、現預金残高は43億円の減少。

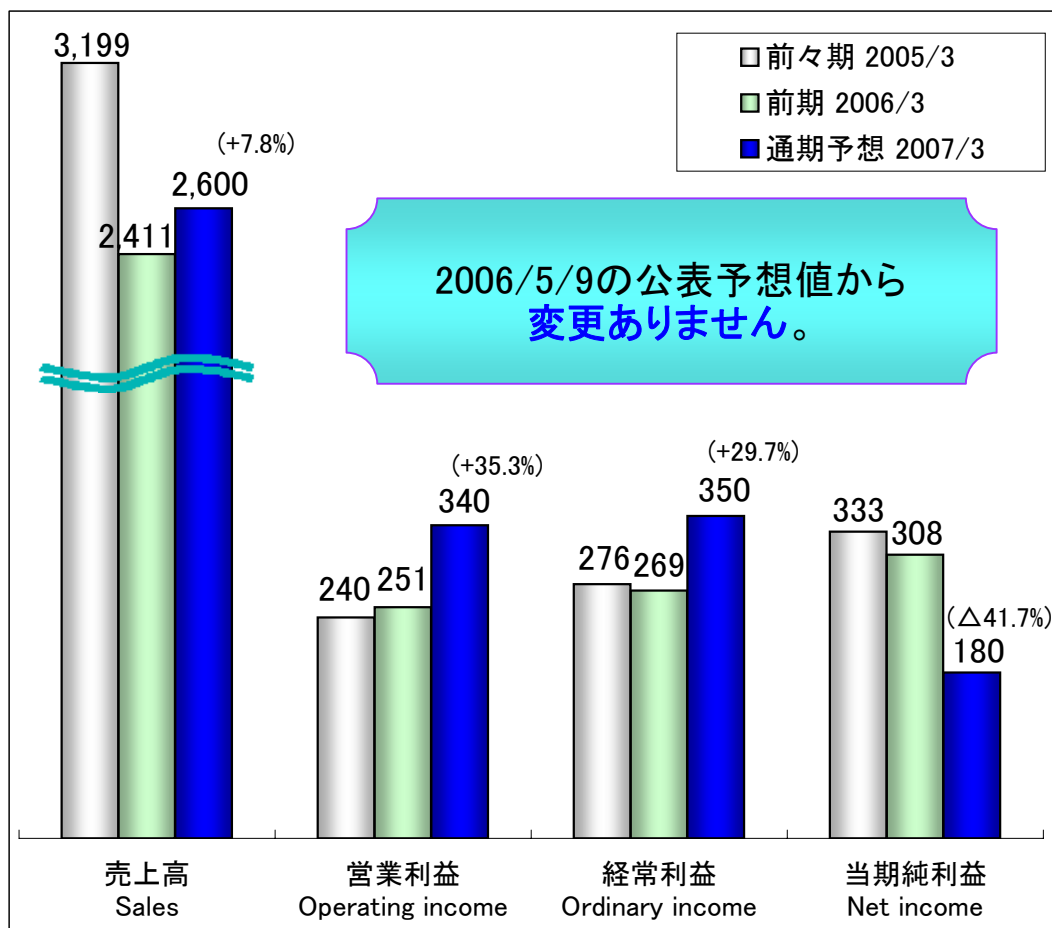
\* 1: 換算差額含む。 Including effect of exchange rate change.

\* 2: 連結範囲変動による増減含む。 Including effect of change in consolidation scope.

## 連結 通期業績予想

Consolidated earnings forecast for March, 2007

(単位: 億円/100millions of yen)



	前々期 2005/3	前期 2006/3	通期予想 2007/3 Forecast	増減額 Variance
売上高 Sales	3,199	2,411	2,600	188 7.8%
営業利益 Operating income	240 7.5%	251 10.4%	340 13.1%	88 35.3%
経常利益 Ordinary income	276 8.6%	269 11.2%	350 13.5%	80 29.7%
当期純利益 Net income	333 10.4%	308 12.8%	180 6.9%	△128 △41.7%

1株当たり利益 Earnings per Share	円	円	円	円
	437.31	410.52	243.50	△167.02

### <2007/3期 連結通期業績予想について>

- 売上高  
顧客企業のIT投資が活況に推移する見通しであることから、情報サービス事業が増収になる見通し。
- 営業利益及び経常利益  
情報サービス事業は、BPO関連事業の拡大、収益性の向上が進むこと等から、大きく増益となる見通し。また、金融サービス及び証券事業が引き続き安定的に収益貢献し、営業利益全体では、35.3%増益を見込む。経常利益も、営業増益に伴い29.7%の増益となる見通し。
- 当期純利益  
前期には保有資産証券化による特別利益が含まれておりますが、当期は多額の特別利益は想定していないこと等の理由により、減益となる見通し。